

津山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	日本語作文
科目基礎情報						
科目番号	0013		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	総合理工学科(情報システム系)		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	門脇薫『みんなの日本語 初級（第2版）やさしい作文』、スリーエーネットワーク、2018年9月					
担当教員	杉山 明,渡邊 朝美					
到達目標						
【学習目的】 授業の際に紹介された言葉を理解、運用できるようになり、日本語で論旨明快な文章を書くことができる能力を養う。また、読み手が分かりやすい字を書き、文章中に適度に漢字や熟語などを組み込むことができるようになることも目標のひとつである。						
【目標】 1. 分かりやすい文字が書けるようになる。 2. 日本語の文章で自分の考えを表現することができるようになる。 3. 日本語の文章を読み、書き手の意図を理解することができるようになる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1	論旨明快な文章を日本語で書くことができる。		日本語で文章を書くことができる。		書かれた文章の意図を読み手がくみ取ることができない。	
評価項目2	初・中級レベルの漢字や熟語などを適度にまじえ、日本語の文章を書くことができる。		初・中級レベルの漢字や熟語などを少しまじえ、日本語の文章を書くことができる。		初・中級レベルの漢字や熟語などを使用することができない。	
評価項目3	読み手が読みやすい整った文字で文章を書くことができる。		読み手が読める文字で文章を書くことができる。		読み手が読解に困難を感じるような文字でしか文章を書くことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	1年次の留学生を対象とした日本語の作文の授業である。 日本語で文章を書く力を養い、将来的にはレポートや情景横断演習などの報告で日本語の理論的な文章を書くことができるようになるよう、少しずつ難易度をあげながら課題に取り組んでいく。また、日常生活や授業を受ける際に理解しておくべき漢字や熟語表現についても学び、それらを使って整った文章が書けるようになるよう練習を重ねていく。					
授業の進め方・方法	前期は教科書を使って、日本語作文に取り組んでいくが、後期からは教師が準備したトピックについて調べ、理解したのちに、自分の考えを文章化する訓練も適宜取り入れながら、日本語文章作成能力を養っていく。 読み手が読みやすい整った文字を書くことができるよう、授業時間や補講の時間などを利用し、訓練を重ねていく。					
注意点	受講生の状況によって、テキストや授業内容を変更する可能性がある。 前期・後期の試験結果（70%）、課題（20%）、出席状況（10%）で総合評価を確定する。 60点以上を合格とし、必要に応じて再試験を実施する。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ユニット1 自己紹介		自分のことを分かりやすい日本語の文章で表現することができる。	
		2週	ユニット2 わたしの部屋		自分の部屋にあるもの、様子について日本語の文章で表現することができる。	
		3週	ユニット3 わたしの国・町		とりたての「は」を使って、自分の国や故郷の街について紹介することができる。	
		4週	ユニット4 わたしの家族		複文で自分の家族について紹介する。	
		5週	ユニット5 週末		週末の過ごし方などを日本語の文章で表現することができる。	
		6週	ユニット6 はがき		はがきの書き方、出し方を学ぶ。	
		7週	ユニット7 プレゼント		過去の描写について学ぶ。どのようなものか詳しく表現することができる。	
		8週	（前期中間試験）			
	2ndQ	9週	中間試験の返却とフィードバック			
		10週	ユニット8 旅行		「まず」、「つぎに」などの言葉を使って希望や予定について表現することができる。	
		11週	ユニット9 もしわたしが二人いたら		「もし」や「たとえば」という言葉を使って表現することができるようになる。	
		12週	ユニット10 趣味		複文を使って自分の趣味について詳しく相手に説明することができる。	
		13週	ユニット11 楽しい1日		1日の出来事を日本語で詳しく表現でき、理由について表現できるようになる。	
		14週	ユニット12 日本でびっくりしたこと		前置きの「が」について理解し、ある状況とその時の自分の気持ちを伝えることができるようになる。	
		15週	（前期期末試験）			
		16週	期末試験の返却とフィードバック			
後期	3rdQ	1週	ユニット13 わたしの夢		将来の展望を理由を交え、説明できるようになる。	
		2週	ユニット14 隣の人にひとこと		相手に意見や提案ができるようになる。	
		3週	ユニット15 手紙		手紙の書き方、出し方について学ぶ。	
		4週	ユニット16 ごみ：国との比較（1）		情報を調べ、いくつかの情報を比較し、自分の意見を述べることができるようになる。	

		5週	ユニット1 7 交通：国との比較（2）	情報を調べ、いくつかの情報を比較し、自分の意見を述べることができるようになる。
		6週	ユニット1 8 スマートフォン 必要？不必要？	自分の意見とその理由を相手に分かりやすく伝えることができるようになる。
		7週	ユニット1 9 わたしの周りの最近のニュース	状況を説明し、自分の意見を伝えることができるようになる。
		8週	（後期中間試験）	
	4thQ	9週	中間試験の返却とフィードバック	
		10週	ユニット2 0 わたしの国の有名な人	情報を調べ、相手に内容を説明できるようになる。
		11週	教師作成資料	情報を調べ、いくつかの情報を比較し、自分の意見を述べることができるようになる。
		12週	教師作成資料	情報を調べ、いくつかの情報を比較し、自分の意見を述べることができるようになる。
		13週	教師作成資料	情報を調べ、いくつかの情報を比較し、自分の意見を述べることができるようになる。
		14週	教師作成資料	情報を調べ、いくつかの情報を比較し、自分の意見を述べることができるようになる。
		15週	（後期期末試験）	
		16週	期末試験の返却とフィードバック	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0